

2017年2月吉日

お客様 各位

株式会社ビット・エイ

ベイシアグループ様からの

流通BMS関連依頼に対する対応のご案内

拝啓 貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2017年1月にベイシアグループ様より「EDIサービスサーバ証明書更新に伴うJX通信お取引先様エンドポイントおよび、ルート・中間証明書切替依頼の件」がご案内されております。同ご案内は、次の作業を依頼する内容となっております。

1. SHA2 証明書のインストール
2. 接続先 URL の変更

次頁からの手順書に沿って対応をお願い致します。

ご不明な点がございましたら、下記までお問合せ下さい。

敬具

記

◇日程に対するご注意

1. SHA2 証明書のインストール は2017年3月8日以前に実施可能です。
2. 接続先 URL の変更 は2017年3月8日以降に実施して下さい。

◇e-NetBMS お問合せ窓口

株式会社 ビット・エイ ソリューションシステム部

e-mail : bms@bit.or.jp

tel : 025-371-4163 山作、今泉、本間

営業時間 : 平日営業時間帯 9:00~17:00 (土日祝日は除く)

以上

JX 証明書インストール手順



e-NetBMSをご利用する全てのユーザアカウントにて
実施して下さい。

1 証明書をインストールする。

- ① ベイシアグループ様よりメールいただいた証明書をインストールする。

3月8日以前に実施可能です。

メールされている二つの証明書を両方インストールして下さい。

- ② ファイルを**ダブルクリック**します。

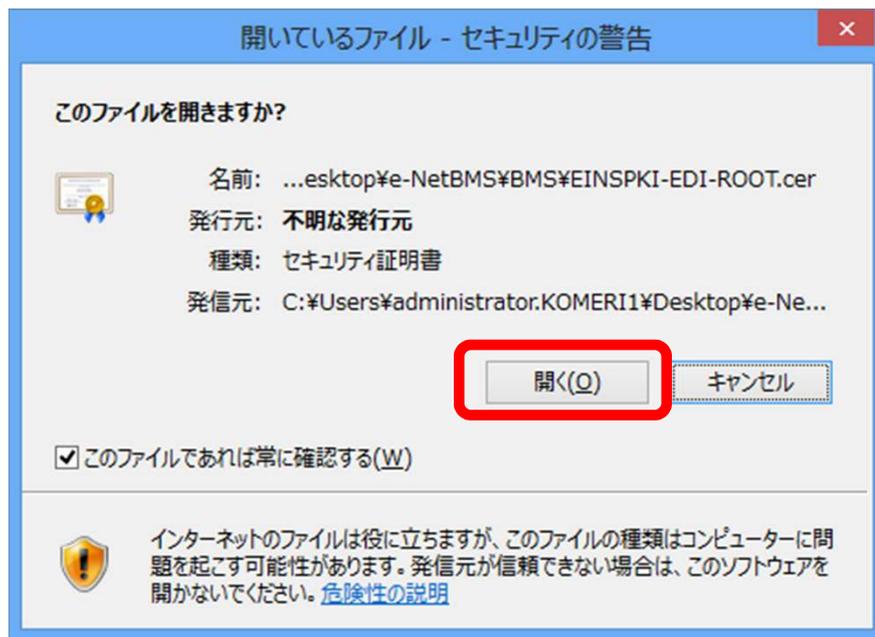


EINSPKI-EDI-CHAIN_v2cer



EINSPKI-EDI-ROOT_v2.cer

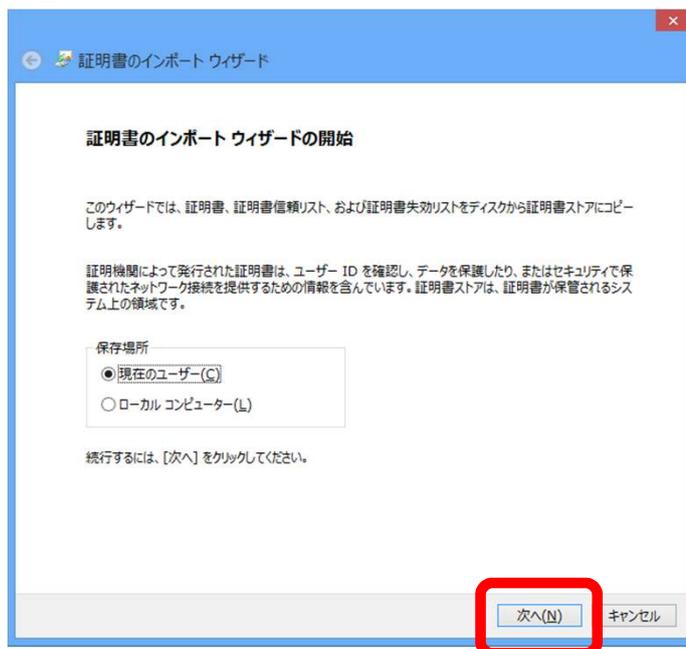
- ③ 下記の画面が表示されたら、「**開く**」をクリックします。



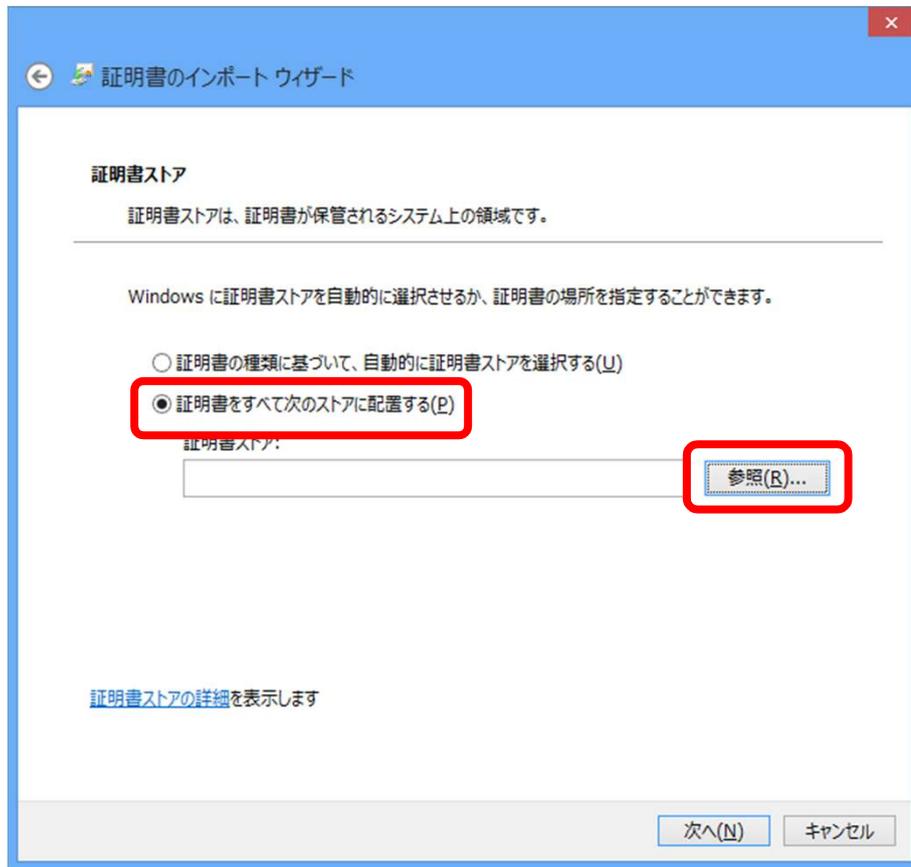
- ③ 証明書の画面が表示されたら、
「**証明書のインストール**」をクリックします。



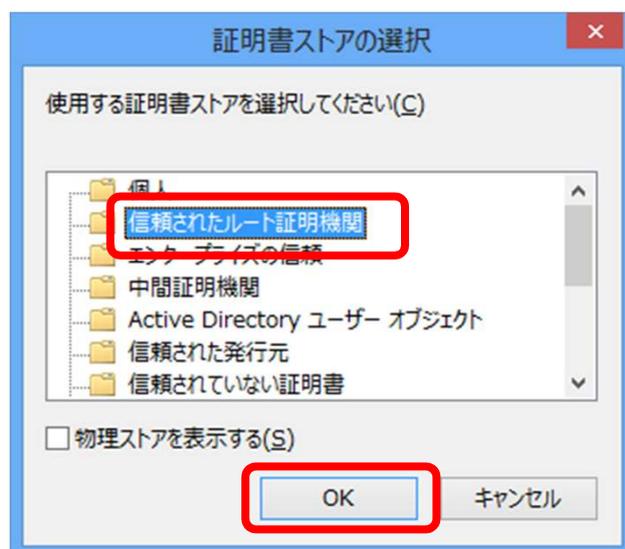
- ④ 証明書のインポート ウィザード画面が表示されたら、
「**次へ**」をクリックします。



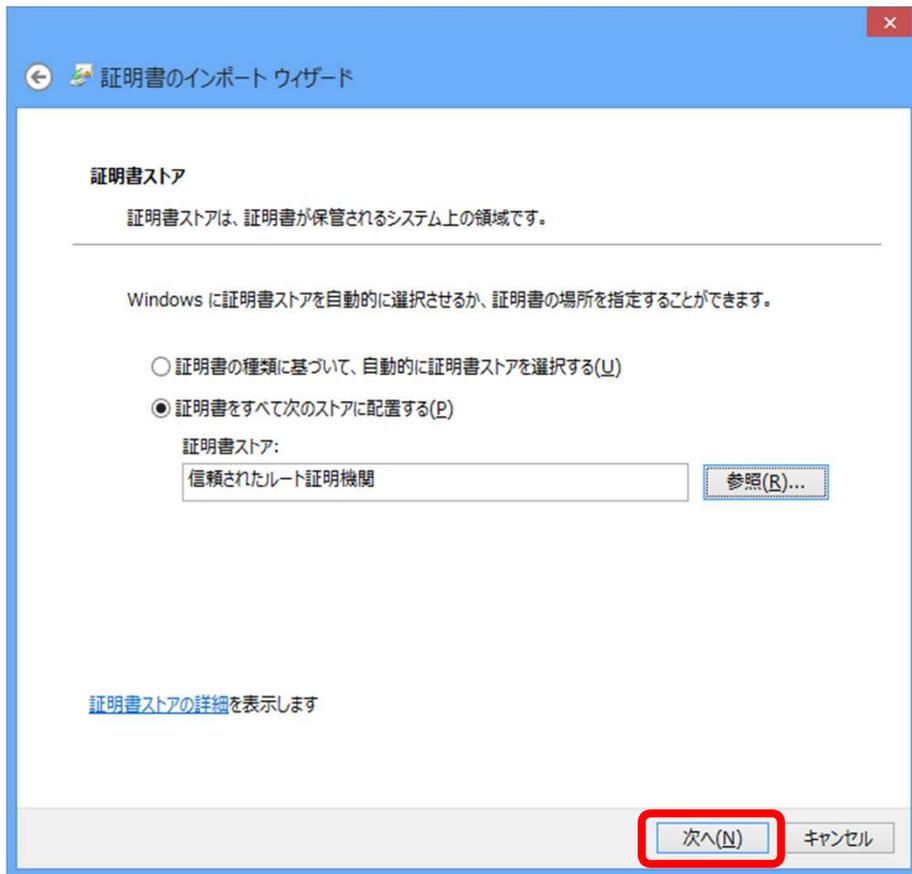
- ⑤ 下記画面が表示されたら「**証明書**をすべて次のストアに配置する」を選択し、「**参照**」をクリックします。



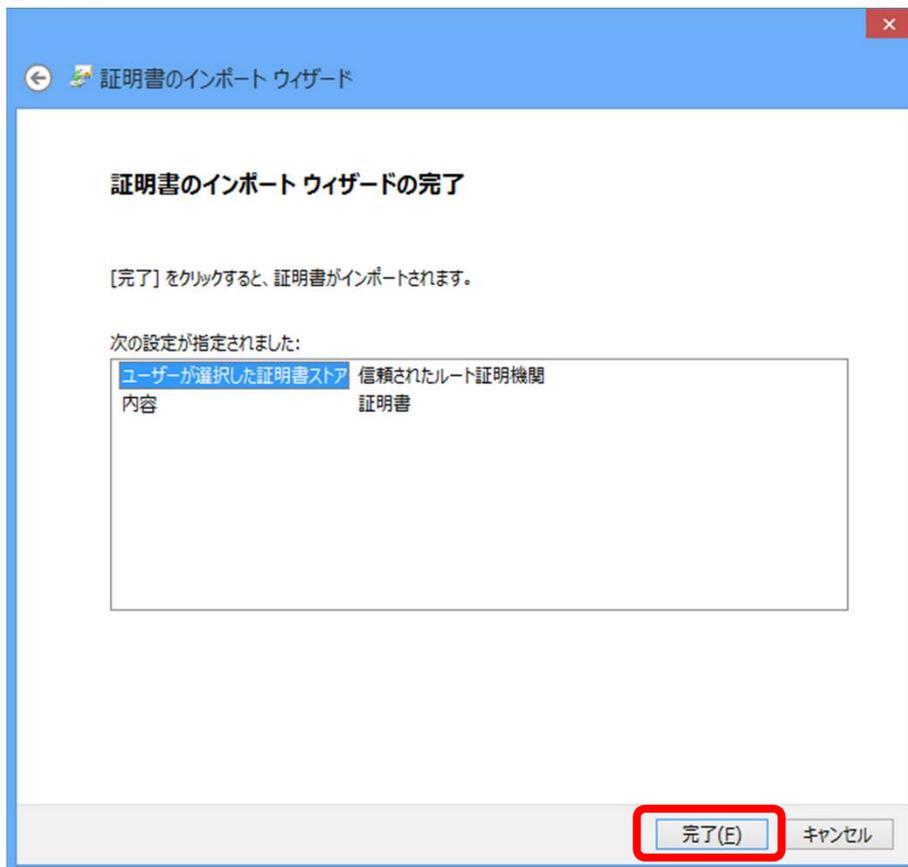
- ⑥ 下記画面で「**信頼されたルート証明機関**」を選択して「**OK**」をクリックします。



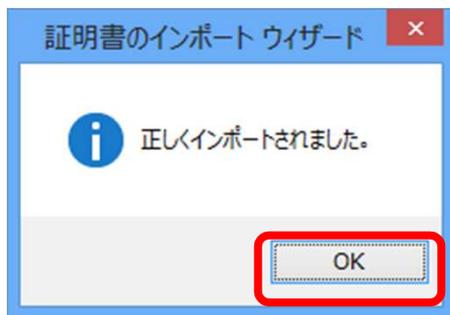
⑦ 「次へ」をクリックします。



⑧ 「完了」をクリックします。



- ⑧ インポート完了のメッセージが表示されたら、
「OK」をクリックしてください。



- ⑨ 「証明書」画面に戻ります。証明書のインストールが完了したので、
「OK」をクリックします。



インストール時間の目安 : 5~数十秒程度

※お使いの端末の処理速度によって、インストールの時間は異なります。

2. 通信定義設定を変更する

① e-NetBMSの通信定義を変更します。

3月8日以降に実施して下さい。

② プログラム一覧から「BitA_e-NetBMS」→「JX_Client管理ツールの起動」を右クリック

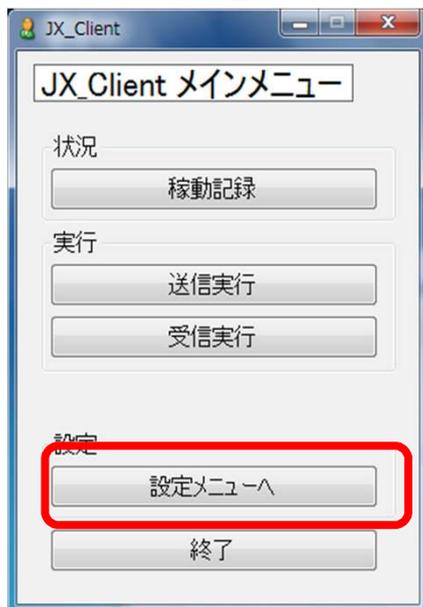


一覧より「管理者として実行」を左クリック

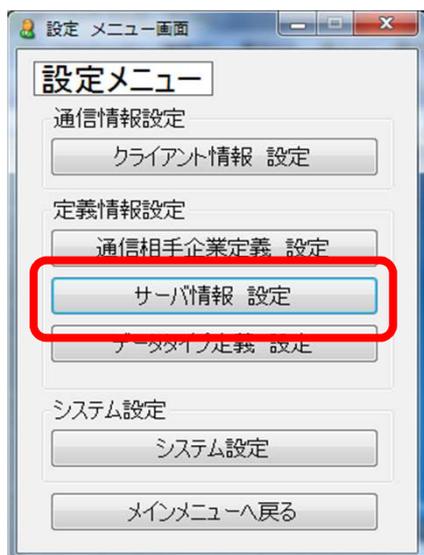


③ サーバ情報 設定

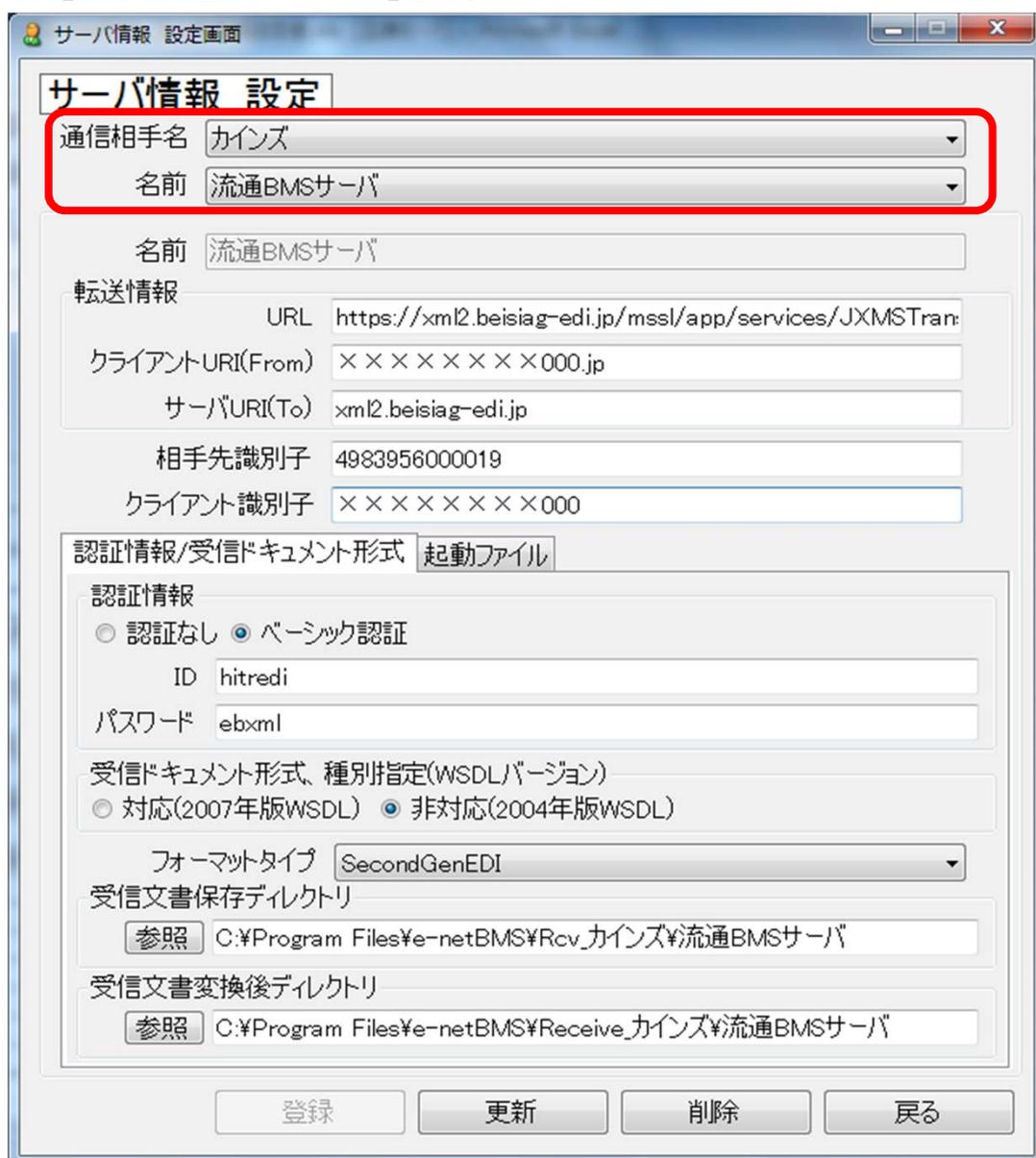
「設定メニューへ」をクリック



④ 「サーバ情報 設定」をクリック



⑤ 「通信相手名」から「カインズ」を選択
「名前」から「流通BMSサーバ」を選択



⑥ 「サーバ情報 設定」のURLを修正
修正前

https://xml2.beisiag-edi.jp/mssl/app/services/JXMSTransferSoap

修正後

https://xml4.beisiag-edi.jp/mssl/app/services/JXMSTransferSoap

The screenshot shows a Windows-style dialog box titled 'サーバ情報 設定画面'. The main title is 'サーバ情報 設定'. It contains several input fields and sections:

- 通信相手名:** カインズ (dropdown)
- 名前:** 流通BMSサーバ (dropdown)
- 名前:** 流通BMSサーバ (text input)
- 転送情報:**
 - URL:** https://xml4.beisiag-edi.jp/mssl/app/services/JXMSTran: (highlighted in red)
 - クライアントURI(From):** ××××××××000.jp
 - サーバURI(To):** xml2.beisiag-edi.jp
 - 相手先識別子:** 4983956000019
 - クライアント識別子:** ××××××××000
- 認証情報/受信ドキュメント形式:** 起動ファイル
- 認証情報:**
 - 認証なし ベーシック認証
 - ID:** hitredi
 - パスワード:** ebxml
- 受信ドキュメント形式、種別指定(WSDLバージョン):**
 - 対応(2007年版WSDL) 非対応(2004年版WSDL)
 - フォーマットタイプ:** SecondGenEDI (dropdown)
- 受信文書保存ディレクトリ:** 参照 C:\Program Files\e-netBMS\Rcv_カインズ\流通BMSサーバ
- 受信文書変換後ディレクトリ:** 参照 C:\Program Files\e-netBMS\Receive_カインズ\流通BMSサーバ

At the bottom, there are four buttons: '登録', '更新' (highlighted in red), '削除', and '戻る'.

⑦ 「更新」をクリック

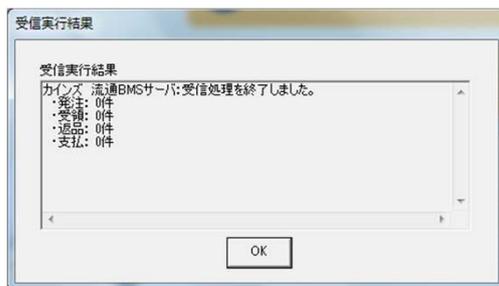


3. 通信テストを行う

① 受信を行う。



② 受信が正常終了する事を確認。



③ 受信結果を再確認するには
カレンダーの当日日付けをクリックする。

